

2022年度

東京都立大学大学院経営学研究科
経営学専攻博士前期課程
ファイナンスプログラム科目等履修生出願要項

この募集による受講者のための授業科目は、主に、平日夜間及び土曜日に東京都立大学丸の内サテライトキャンパスにおいて開講されます。

なお、新型コロナウイルス感染拡大の影響などにより、オンラインで授業を実施する可能性があります。

東京都立大学大学院
経営学研究科

2022年度 前期
東京都立大学大学院経営学研究科
経営学専攻博士前期課程 ファイナンスプログラム
科目等履修生出願要項

1 科目等履修生概要

- (1) 科目等履修生として履修できる者は、提出された出願書類の審査に基づき、履修しようとする授業科目（以下「科目」という。）を学習する能力があると認められた者に限ります。
- (2) 科目等履修生として履修できる者は、「2 出願資格」の条件を満たす者に限ります。
- (3) 科目等履修生の収容人員および科目ごとの許可人員は、正規の学生の学習の妨げとならない範囲とします。
- (4) 前期（4月～9月）と後期（10月～3月）それぞれの期間ごとに出願手続きが必要です。
- (5) この要項にしたがって履修を出願できる科目は、別紙「科目等履修生時間割」に記載されている前期開講科目（前期Ⅰ・Ⅱ開講科目を含む）です。ただし、同一年度の前期履修単位数と後期履修単位数の合計は12単位を上限とします。授業は1科目2単位です。また、経営学研究科内の他のプログラムの科目を同一年度に履修する場合は、研究科合計で12単位までとします。
- (6) 科目等履修生は許可された科目につき試験を受けることができます。
出席日数及び試験の結果に基づき科目修了の認定を得た者には、願出により修得した単位の証明書を交付します。
- (7) 科目等履修生は許可された科目以外の授業には出席できません。
- (8) 科目等履修生が科目修得後に正規学生として博士前期課程に入学したときは、その修得単位は願出によって正規学生の単位として10単位（同一専攻の科目に限る。）まで認定を受けることができます。ただし、正規学生としての修業年限は短縮されません。
- (9) 科目等履修生は、学内において科目等履修生身分証明書を常時携帯してください。
また、学内並びに建物の諸規則を守ってください。

2 出願資格

出願時現在、国内外の金融機関又は金融関連業務を行う企業において、あるいは、事業会社の財務部門や経営部門において、通算で2年以上職業実務に従事し、かつ、次のいずれかに該当する者とします。

- (1) 学校教育法第83条の大学を卒業した者及び2022年3月末までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者及び2022年3月末までに授与される見込みの者（大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び授与される見込みの者）
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び2022年3月末までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び2022年3月末まで

に修了見込みの者

- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び2022年3月末までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の大学の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者（2022年3月末までに修了及び学位授与見込みの者を含む。）
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号：旧大学令による大学、各省庁組織令・設置法による大学校を卒業した者）

3 事前審査

出願の前に、受講の可否について希望する科目担当教員等の事前審査を受ける必要がありますので、「4 事前審査書類等」に記載の書類を一括提出してください。また、事前審査に併せ、必要に応じて面接を実施する場合があります。受講の可否は総合的な判断により決定します。

4 事前審査書類等

- (1) 事前審査書（裏面もあります）
- (2) 関連知識・技術等に関する自己申告書（a）
これまでに修得した知識・技術や経験等について正確にご記入ください。
- (3) 関連知識・技術等に関する自己申告書（b）（様式自由）
（1）数学、（2）統計学、（3）プログラミング技術、（4）ファイナンス・経済学、の各分野に関する現在お持ちの知識・技術等について、A4用紙2枚以内（様式自由、パソコン等での作成可、ホチキス止め不可）で記載してください。
※大学で履修した科目や、講義・独学を問わず、これまでのご自身の学習内容や学習方法、業務で使用した知識・技術等について、わかりやすく、かつ具体的に記載してください。
※学習の際に使用したテキストなどを挙げていただいても結構です。
- (4) 写真（4cm×3cmサイズ。スナップ写真は不可。）
- (5) 事前審査選考結果通知（前期）（**太枠内**、氏名・履修申請科目一覧をご記入ください。）
※別紙「科目等履修生時間割」及び東京都立大学大学院経営学研究科経営学専攻ホームページなどを参考のこと。
- (6) 科目別履修申請書（科目ごとに一枚作成。コピー、またはウェブサイト
<https://www.biz.tmu.ac.jp/examinee/entrance/>
からダウンロードしたファイルを印刷して使用してください。）
※別紙「科目等履修生時間割」及び東京都立大学大学院経営学研究科経営学専攻ホームページなどを参考

のこと。

- (7) 出身大学の卒業（見込）証明書及び成績証明書
※大学院を修了（見込）の方は、大学院の修了（見込）証明書及び成績証明書も提出すること。
※外国語表記の場合は、日本語訳を付すること。
※「2 出願資格」の(7)(8)に該当する者は、これに代替できる書類があれば提出すること。代替できる書類がなければその旨を記載した書類を提出すること。
- (8) 「2 出願資格」の条件を満たす企業に在籍することを証明するもの（在職証明でも可）
- (9) 外国人の場合は、住民票の写し（区市町村発行のもの）が必要です。
- (10) 返信用封筒2通（長形3号。出願者の郵便番号、住所、氏名を明記し354円切手（速達郵便）を貼付してください。）
※ 同時期に経営学研究科の他のプログラムの科目履修に事前審査を提出する場合は、各プログラムが要求する書類それぞれすべて必要ですが、大学学部の卒業（見込）証明書、大学院の修了（見込）証明書、学位授与証明書、学位授与申請（予定）証明書、成績証明書は2プログラム目からはコピーで代替することができます。
※ 記載にあたっては、黒色のボールペンを使用してください（消せるボールペン（フリクションボール等）の筆記用具は不可）。

5 事前審査書類等の提出期間と郵送先

【受付は丸の内サテライトキャンパスへの郵送のみ】

受付期間：2022年1月14日（金）～1月28日（金）必着

※封筒の表に「MF 科目等履修生事前審査書類在中」と朱書きし、書留郵便として下さい。

送付先：東京都立大学管理部 文系管理課 丸の内サテライトキャンパス管理係
〒100-0005
東京都千代田区丸の内1-4-1 丸の内永楽ビルディング18階

- ◎ 面接の日時及び事前審査の結果については、メールまたは郵送で通知します。
出願期間の3日前までに届かない場合は、丸の内サテライトキャンパス管理係に問合せてください。

6 出願手続（事前審査の結果、許可を得た科目のみ受け付けます。）

事前審査を通過した志願者は、次の書類を一括して提出してください。(4)(5)は、事前審査選考結果と併せて送付いたします。

- (1) 願書（本研究科所定用紙の**太枠内の欄**をご記入ください。）
- (2) 写真（4cm×3cmサイズ。スナップ写真は不可。）
- (3) 健康診断書（本研究科所定用紙又はそれに代わる診断書）

本研究科所定用紙による健康診断書に代え、「結核」「その他の異常及び疾病」について診断した診断書（所属機関・企業の健康診断の診断書で、診断から1年以内のもの）でも構いません。その場合は、写しを提出するとともに必ず原本を持参してください。なお、他のプログラム（MBAプログラムまたはMEcプログラム）の2022年度前期の科目等履修生募集に併願される方は、原本は1つのみ提出してください。他はコピーで結構です。

- (4) 履修生原簿兼誓約書（本研究科所定用紙）

(5) 入学考査料（9,800円）の振込証明書

他のプログラム（MBAプログラムまたはMEcプログラム）の2022年度前期の科目等履修生募集に併願される方は、原本は1つのみ提出してください。他はコピーで結構です。

- ※ 本学所定の振込依頼書により取扱金融機関窓口で納付し、振込証明書を出願書類と一緒に提出してください。（現金での受付は行いません。）
- ※ ATM（現金自動預け払い機）等、機械処理での振込みはできません。
- ※ 郵便局（ゆうちょ銀行を含む。）、外国銀行及びネット銀行からの振込みはできません。
- ※ みずほ銀行本支店で納付する場合は、振込手数料はかかりません。

入学考査料を納付したが出願しなかった場合又は入学考査料を誤って納付した場合は、入学考査料の返還申請ができます。

詳細は、本学のホームページ（http://www.tmu.ac.jp/campus_life/tuition/expenses.html）をご確認ください。

「トップページ」→「入試案内」→「大学院入試」→「入学考査料・入学料・授業料」

- ※ (3)の原本は、入学手続きの際にお返しいたします。
- ※ 同時期に経営学研究科の他のプログラムの科目履修に出願する場合は、入学考査料は1プログラム分とします。（ただし、MBA、MEcまたはファイナンスプログラムの前期に出願した後、ファイナンスプログラムの後期にも出願する場合には、別途考査料が必要。）
- ※ 同時期に経営学研究科の他のプログラムの科目履修に出願する場合は、各プログラムが要求する書類それぞれすべて必要ですが、健康診断書、入学考査料の振込証明書は2プログラム目からはコピーで代替することができます。

7 出願期間と郵送先

【受付は丸の内サテライトキャンパスへの郵送のみ】

受付期間：2022年2月28日（月）～3月4日（金）必着

※封筒の表に「MF科目等履修生願書在中」と朱書きし、書留郵便として下さい。

送付先：東京都立大学管理部 文系管理課 丸の内サテライトキャンパス管理係
〒100-0005

東京都千代田区丸の内1-4-1 丸の内永楽ビルディング18階

8 合格発表

(1) 2022年3月16日（水）午後2時

発表場所：経営学研究科ホームページ

URL（大学院入試情報ページ）：

<https://www.biz.tmu.ac.jp/examinee/entrance/>

※合格者一覧の郵送を希望する方は、封筒（長形3号）に郵便番号、住所、氏名を明記し、354円切手（速達郵便）を貼付の上、出願時に同封してください。

(2) 合格者には、合格発表日に履修手続きに必要な書類を発送します。

9 履修手続

合格者は下記の期間内に授業料を金融機関に払込み、手続書類を提出（持参）してください。

※下記期間に履修手続を行わない場合は、履修を辞退したものとして取り扱います。

(1) 手続期間及び場所

2022年4月4日（月）～ 4月11日（月）

時間：（平日）午後2時～午後9時

（土曜日）午前11時～午後5時

場所：丸の内サテライトキャンパス事務室

住所：東京都千代田区丸の内1-4-1 丸の内永楽ビルディング18階

電話：03-6268-0521

(2) 提出書類

- ① 授業料振込証明書
- ② 受講生証用シール（本学所定様式）

(3) 授業料

1単位につき14,400円×許可単位数

※2単位の科目を1科目受講する場合 28,800円

※2単位の科目を2科目受講する場合 57,600円

（本学所定の振込依頼書により取扱金融機関にて納付）

10 その他

- (1) 各科目の内容に関してはシラバスをご参照ください。2021年度版のシラバスは https://www.biz.tmu.ac.jp/wp-content/uploads/2020/05/2021年度_経営学研究科／社会科学研究科経営学専攻授業概要・履修案内.pdf をご覧ください。
- (2) 科目時間割における期間は、前期（2022年4月4日～2022年8月6日）です。
- (3) 一度提出した書類や授業料納付金は、どのような事情があっても返却しません。
- (4) 科目の追加変更はできないので、事前審査書類提出の際によく検討してください。
- (5) 受講可否の事前審査及び出願手続に不正があった場合は履修許可を取り消します。
- (6) 東京都立大学(首都大学東京)大学院社会科学研究科経営学専攻及び大学院経営学研究科経営学専攻を修了した者は、同専攻において在学中に履修済みの科目及びその後継科目を科目等履修生として履修することができない。

【問い合わせ先】

東京都立大学管理部文系管理課丸の内サテライトキャンパス管理係

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-4-1

丸の内永楽ビルディング18階

電話：03-6268-0521

2022年度 後期
東京都立大学大学院経営学研究科
経営学専攻博士前期課程 ファイナンスプログラム
科目等履修生出願要項

1 科目等履修生概要

- (1) 科目等履修生として履修できる者は、提出された出願書類の審査に基づき、履修しようとする授業科目（以下「科目」という。）を学習する能力があると認められた者に限ります。
- (2) 科目等履修生として履修できる者は、「2 出願資格」の条件を満たす者に限ります。
- (3) 科目等履修生の収容人員および科目ごとの許可人員は、正規の学生の学習の妨げとならない範囲とします。
- (4) 前期（4月～9月）と後期（10月～3月）それぞれの期間ごとに出願手続きが必要です。
- (5) この要項にしたがって履修を出願できる科目は、別紙「科目等履修生時間割」に記載されている後期開講科目（後期Ⅰ・Ⅱ開講科目を含む）です。ただし、同一年度の前期履修単位数と後期履修単位数の合計は12単位を上限とします。授業は1科目2単位です。また、経営学研究科内の他のプログラムの科目を同一年度に履修する場合は、研究科合計で12単位までとします。
- (6) 科目等履修生は許可された科目につき試験を受けることができます。
出席日数及び試験の結果に基づき科目修了の認定を得た者には、願出により修得した単位の証明書を交付します。
- (7) 科目等履修生は許可された科目以外の授業には出席できません。
- (8) 科目等履修生が科目修得後に正規学生として博士前期課程に入学したときは、その修得単位は願出によって正規学生の単位として10単位（同一専攻の科目に限る。）まで認定を受けることができます。ただし、正規学生としての修業年限は短縮されません。
- (9) 科目等履修生は、学内において科目等履修生身分証明書を常時携帯してください。
また、学内並びに建物の諸規則を守ってください。

2 出願資格

出願時現在、国内外の金融機関又は金融関連業務を行う企業において、あるいは、事業会社の財務部門や経営部門において、通算で2年以上職業実務に従事し、かつ、次のいずれかに該当する者とします。

- (1) 学校教育法第83条の大学を卒業した者及び2022年9月末までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者及び2022年9月末までに授与される見込みの者（大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び授与される見込みの者）
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び2022年9月末までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び2022年9月末まで

に修了見込みの者

- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び2022年9月末までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の大学の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者（2022年9月末までに修了及び学位授与見込みの者を含む。）
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号：旧大学令による大学、各省庁組織令・設置法による大学校を卒業した者）

3 事前審査

出願の前に、受講の可否について希望する科目担当教員等の事前審査を受ける必要がありますので、「4 事前審査書類等」に記載の書類を一括提出してください。また、事前審査に併せ、必要に応じて面接を実施する場合があります。受講の可否は総合的な判断により決定します。

4 事前審査書類等

- (1) 事前審査書（裏面もあります）
- (2) 関連知識・技術等に関する自己申告書（a）
これまでに修得した知識・技術や経験等について正確にご記入ください。
- (3) 関連知識・技術等に関する自己申告書（b）（様式自由）
（1）数学、（2）統計学、（3）プログラミング技術、（4）ファイナンス・経済学、の各分野に関する現在お持ちの知識・技術等について、A4用紙2枚以内（様式自由、パソコン等での作成可、ホチキス止め不可）で記載してください。
※大学で履修した科目や、講義・独学を問わず、これまでのご自身の学習内容や学習方法、業務で使用した知識・技術等について、わかりやすく、かつ具体的に記載してください。
※学習の際に使用したテキストなどを挙げていただいても結構です。
- (4) 写真（4cm×3cmサイズ。スナップ写真は不可。）
- (5) 事前審査選考結果通知（後期）（**太枠内**、氏名・履修申請科目一覧をご記入ください。）
※別紙「科目等履修生時間割」及び東京都立大学大学院経営学研究科経営学専攻ホームページなどを参考のこと。
- (6) 科目別履修申請書（科目ごとに一枚作成。コピー、またはウェブサイト
<https://www.biz.tmu.ac.jp/examinee/entrance/>
からダウンロードしたファイルを印刷して使用してください。）
※別紙「科目等履修生時間割」及び東京都立大学大学院経営学研究科経営学専攻ホームページなどを

参考のこと。

- (7) 出身大学の卒業（見込）証明書及び成績証明書
※大学院を修了（見込）の方は、大学院の修了（見込）証明書及び成績証明書も提出すること。
※外国語表記の場合は、日本語訳を付すること。
※「2 出願資格」の(7)(8)に該当する者は、これに代替できる書類があれば提出すること。代替できる書類がなければその旨を記載した書類を提出すること。
- (8) 「2 出願資格」の条件を満たす企業に在籍することを証明するもの
(在職証明でも可)
- (9) 外国人の場合は、住民票の写し（区市町村発行のもの）が必要です。
- (10) 返信用封筒2通（長形3号。出願者の郵便番号、住所、氏名を明記し354円切手（速達郵便）を貼付してください。）
※ 同時期に経営学研究科の他のプログラムの科目履修に事前審査を提出する場合は、各プログラムが要求する書類それぞれすべて必要ですが、大学学部の卒業（見込）証明書、大学院の修了（見込）証明書、学位授与証明書、学位授与申請（予定）証明書、成績証明書は2プログラム目からはコピーで代替することができます。
※ 記載にあたっては、黒色のボールペンを使用してください（消せるボールペン（フリクションボール等）の筆記用具は不可）。

5 事前審査書類等の提出期間と郵送先

【受付は丸の内サテライトキャンパスへの郵送のみ】

受付期間：2022年6月24日（金）～7月8日（金）必着

※封筒の表に「MF 科目等履修生事前審査書類在中」と朱書きし、書留郵便として下さい。

送付先：東京都立大学管理部 文系管理課 丸の内サテライトキャンパス管理係
〒100-0005

東京都千代田区丸の内1-4-1 丸の内永楽ビルディング18階

- ◎ 面接の日時及び事前審査の結果については、メールまたは郵送で通知します。
出願期間の3日前までに届かない場合は、丸の内サテライトキャンパス管理係に問合せてください。

6 出願手続（事前審査の結果、許可を得た科目のみ受け付けます。）

事前審査を通過した志願者は、次の書類を一括して提出してください。(4)(5)は、事前審査選考結果と併せて送付いたします。

- (1) 願書（本研究科所定用紙の**太枠内の欄**をご記入ください。）
(2) 写真（4cm×3cmサイズ。スナップ写真は不可。）
(3) 健康診断書（本研究科所定用紙又はそれに代わる診断書）

本研究科所定用紙による健康診断書に代え、「結核」「その他の異常及び疾病」について診断した診断書（所属機関・企業の健康診断の診断書で、診断から1年以内のもの）でも構いません。その場合は、写しを提出するとともに必ず原本を持参してください。なお、2022年度前期の科目等履修生募集（MBA、MEcまたはファイナンスプログラム）に出願した方は、前期出願時に提出した診断書のコピーで代替することができます。

- (4) 履修生原簿兼誓約書（本研究科所定用紙）

(5) 入学考査料（9,800円）の振込証明書

- ※ 本学所定の振込依頼書により取扱金融機関窓口で納付し、振込証明書を出願書類と一緒に提出してください。（現金での受付は行いません。）
- ※ A T M（現金自動預け払い機）等、機械処理での振込みはできません。
- ※ 郵便局（ゆうちょ銀行を含む。）、外国銀行及びネット銀行からの振込みはできません。
- ※ みずほ銀行本支店で納付する場合は、振込手数料はかかりません。

入学考査料を納付したが出願しなかった場合又は入学考査料を誤って納付した場合は、入学考査料の返還申請ができます。

詳細は、本学のホームページ (http://www.tmu.ac.jp/campus_life/tuition/expenses.html) をご確認ください。

「トップページ」→「入試案内」→「大学院入試」→「入学考査料・入学科・授業料」

- ※ (3)の原本は、入学手続きの際にお返しいたします。
- ※ 同時期に経営学研究科の他のプログラムの科目履修に出願する場合は、入学考査料は1プログラム分とします。（ただし、前期に出願した後、ファイナンスプログラムの後期にも出願する場合には、別途考査料が必要。）

7 出願期間と郵送先

【受付は丸の内サテライトキャンパスへの郵送のみ】

受付期間：2022年8月29日（月）～9月2日（金）必着

※封筒の表に「MF科目等履修生願書在中」と朱書し、書留郵便として下さい。

送付先：東京都立大学管理部 文系管理課 丸の内サテライトキャンパス管理係
〒100-0005

東京都千代田区丸の内1-4-1 丸の内永楽ビルディング18階

8 合格発表

(1) 2022年9月16日（金）午後2時

発表場所：経営学研究科ホームページ

URL（大学院入試情報ページ）：

<https://www.biz.tmu.ac.jp/examinee/entrance/>

※合格者一覧の郵送を希望する方は、封筒（長形3号）に郵便番号、住所、氏名を明記し、354円切手（速達郵便）を貼付の上、出願時に同封してください。

(2) 合格者には、合格発表日に履修手続きに必要な書類を発送します。

9 履修手続

合格者は下記の期間内に授業料を金融機関に払込み、手続書類を提出（持参）してください。

※下記期間に履修手続を行わない場合は、履修を辞退したものと取り扱います。

(1) 手続期間及び場所

2022年10月1日（土）～ 10月7日（金）

時間：（平日）午後２時～午後９時

（土曜日）午前１１時～午後５時

場所：丸の内サテライトキャンパス事務室

住所：東京都千代田区丸の内１－４－１ 丸の内永楽ビルディング１８階

電話：０３－６２６８－０５２１

(2) 提出書類

- ① 授業料振込証明書
- ② 受講生証用シール（本学所定様式）

(3) 授業料

１単位につき１４，４００円×許可単位数

※２単位の科目を１科目受講する場合 ２８，８００円

※２単位の科目を２科目受講する場合 ５７，６００円

（本学所定の振込依頼書により取扱金融機関にて納付）

10 その他

- (1) 各科目の内容に関してはシラバスをご参照ください。2021年度版のシラバスは https://www.biz.tmu.ac.jp/wp-content/uploads/2020/05/2021年度_経営学研究科／社会科学研究科経営学専攻授業概要・履修案内.pdf をご覧ください。
- (2) 科目時間割における期間は、後期（2022年10月1日～2023年2月13日）です。
- (3) 一度提出した書類や授業料納付金は、どのような事情があっても返却しません。
- (4) 科目の追加変更はできないので、事前審査書類提出の際によく検討してください。
- (5) 受講可否の事前審査及び出願手続に不正があった場合は履修許可を取り消します。
- (6) 東京都立大学(首都大学東京)大学院社会科学研究科経営学専攻及び大学院経営学研究科経営学専攻を修了した者は、同専攻において在学中に履修済みの科目及びその後継科目を科目等履修生として履修することができない。

【問い合わせ先】

東京都立大学管理部文系管理課丸の内サテライトキャンパス管理係

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-4-1

丸の内永楽ビルディング18階

電話：03-6268-0521

東京都立大学大学院経営学研究科(博士前期課程)
2022年度(前期)科目等履修生 事前審査書

| | | | | | | | | |
|------------------|-------------------------|--|--------|-----|------------|---|---|----|
| 志望する プログラムに○ | 経営学・経済学・ファイナンス | | 受験番号 | ※ | ※記入不要 | | | |
| フリガナ | | | 生年月日 | 年 | 月 | 日 | | |
| 氏名 | | | | | | | (| 歳) |
| 現住所 | 〒 | | 国籍 | | | | | |
| | | | TEL | - | - | | | |
| | | | MAIL | | | | | |
| 連絡先 | 上記以外で、本人と速やかに連絡がとれる電話番号 | | | | | | | |
| | - | | (呼) 様方 | | | | | |
| 出願資格 出身 大学 | 大学 | | 学部 | 学科 | 年 | 月 | 日 | |
| | | | | | 卒業 / 卒業見込み | | | |
| 学歴 | 大学 | | 在籍期間 | ~ | 年 | 月 | | |
| | 大学院 | | 在籍期間 | ~ | 年 | 月 | | |
| | | | 在籍期間 | ~ | 年 | 月 | | |
| 現在の 勤務先 | 名称及び部署 | | 在籍期間 | ~ | 年 | 月 | | |
| | 職務内容 | | | | | | | |
| | 〒 | | | TEL | - | - | | |
| 職歴 | 名称及び部署 | | 在籍期間 | ~ | 年 | 月 | | |
| | 名称及び部署 | | 在籍期間 | ~ | 年 | 月 | | |
| 資格 | | | | | | 年 | 月 | 取得 |
| | | | | | | 年 | 月 | 取得 |
| | | | | | | 年 | 月 | 取得 |

| | 入学及び卒業年月 | | 学校名 | | 標準修業年限 | |
|--------|----------|----|-----|---|--------|-------|
| | 学 歴 | 年 | 月～ | 年 | 月 | 小 学 校 |
| 年 | | 月～ | 年 | 月 | 中 学 校 | |
| 年 | | 月～ | 年 | 月 | 高等学校 | |
| 年 | | 月～ | 年 | 月 | 大 学 | |
| 年 | | 月～ | 年 | 月 | 大 学 院 | |
| 年 | | 月～ | 年 | 月 | | |
| 備 考 | | | | | | |

(注) 学歴については、出願要項「2 出願資格」の(3)に該当する方は小学校から記入、
 その他の方は高等学校から記入のこと。

(注) 標準修業年限とは、学校の定める教育課程のすべてを修了するのに必要であると
 定められた標準的な年限のこと。例：日本では小学校6年、中学校3年、など。

東京都立大学大学院経営学研究科(博士前期課程)
2022年度(後期)科目等履修生 事前審査書

| | | | | |
|------------------|---------------------------------------|----------|---------------------|---------------|
| 志望する プログラムに○ | 経営学・経済学・ファイナンス | 受験番号 | ※ | ※記入不要 |
| フリガナ | | | 生年月日 | 年 月 日 (歳) |
| 氏 名 | | | | |
| 現住所 | 〒 | | 国籍 | |
| | | | TEL | - - |
| | | | MAIL | |
| 連絡先 | 上記以外で、本人と速やかに連絡がとれる電話番号 - - (呼) 様方 | | | |
| 出願資格 出身 大学 | 大学 学部 | 大学 学科 | 年 月 日 卒業 / 卒業見込み | |
| 学 歴 | 大学 | | 在籍期間 | ~ 年 月 年 月 |
| | 大学院 | | 在籍期間 | ~ 年 月 年 月 |
| | | | 在籍期間 | ~ 年 月 年 月 |
| 現 在 の 勤 務 先 | 名称及び部署 | | 在籍期間 | ~ 年 月 年 月 |
| | 職務内容 | | | |
| | 〒 | | TEL | - - |
| 職 歴 | 名称及び部署 | | 在籍期間 | ~ 年 月 年 月 |
| | 名称及び部署 | | 在籍期間 | ~ 年 月 年 月 |
| 資 格 | | | 年 月取得 | |
| | | | 年 月取得 | |
| | | | 年 月取得 | |

| 学 歴 | 入学及び卒業年月 | | 学校名 | | 標準修業年限 |
|--------|----------|------|-----|--|--------|
| | 年 月～ 年 月 | 小学校 | | | |
| | 年 月～ 年 月 | 中学校 | | | |
| | 年 月～ 年 月 | 高等学校 | | | |
| | 年 月～ 年 月 | 大学 | | | |
| | 年 月～ 年 月 | 大学院 | | | |
| | 年 月～ 年 月 | | | | |
| 備 考 | | | | | |

(注) 学歴については、出願要項「2 出願資格」の(3)に該当する方は小学校から記入、
 その他の方は高等学校から記入のこと。

(注) 標準修業年限とは、学校の定める教育課程のすべてを修了するのに必要であると
 定められた標準的な年限のこと。例：日本では小学校6年、中学校3年、など。

受験番号 (記入不要):

氏名(要記入):

関連知識・技術等に関する自己申告書 (a)

以下の問いに対して、選択肢の中から最も近いと思われるもの一つに○印をつけてください。学生時代を含めてこれまでのご経験を踏まえて記載してください。

(1) 数学

(1-1) 全般

- A. 高校数学程度の知識がある (関数、方程式、微積分、ベクトル、平面・立体図形など)
- B. 理系大学初年度程度以上の知識がある (解析学、線形代数学)
- C. 理系専門課程水準の知識がある (常・偏微分方程式論、複素関数論、関数解析など)

(1-2) 特に、確率について

- A. よく知らない
- B. 高校程度の知識がある (分布関数・密度関数、期待値、分散・共分散、順列・組み合わせ、条件付確率など)
- C. 大学で学ぶ確率論・測度論の知識がある

(2) 統計学

(2-1) 理論

- A. 理論には詳しくない
- B. 単純な分析手法 (回帰分析など) や区間推定・検定 (t 検定など) の理論は知っている
- C. 主要な分析手法の理論は一通り知っている

(2-2) 統計分析ソフトの利用経験

- A. ほぼ未経験
- B. 統計分析ソフトを使用することが時々ある
- C. 各種統計分析ソフトから目的に即した関数を選択して使用できる

(3) プログラミング技術

- A. プログラミングはほぼ未経験
- B. 単純な構造の計算ならばプログラミングできる
- C. 自分のやりたい計算をおよそプログラミングできる
- D. 自分のやりたい計算を計算効率も考えて適切にプログラミングできる

(4) ファイナンス・経済学

- A. 高校卒業以降、特に学んでいない
- B. 大学教養科目として履修した
- C. 専門課程で履修した
- D. 独学で学んできた

ご記入いただき、ありがとうございました。

※自己申告書(b)は A4 用紙 2 枚以内 (様式自由、パソコン等での作成可、ホチキス止め不可) で作成してください。

| | |
|------|---|
| 受験番号 | ※ |
|------|---|

※記入不要

| |
|---|
| 様 |
|---|

事前審査選考結果通知（前期）

事前審査選考の結果は、下記のとおりです。
合判定により許可を得られた方は、出願要項に基づき、必ず所定期間内に
出願を行ってください。期間外においての手続きは許可されません。

履修申請科目一覧

| 開講 | 曜日 | 時限 | 科目名 | 担当教員名 | 合否 |
|---------------------|----|----|-----|-------|----|
| 前期 前期 I 前期 II | | | | | |
| 前期 前期 I 前期 II | | | | | |
| 前期 前期 I 前期 II | | | | | |
| 前期 前期 I 前期 II | | | | | |
| 前期 前期 I 前期 II | | | | | |
| 前期 前期 I 前期 II | | | | | |

※ 開講欄では、対応する期間に○印をつけてください。

| | |
|------|---|
| 受験番号 | ※ |
|------|---|

※記入不要

| |
|---|
| 様 |
|---|

事前審査選考結果通知（後期）

事前審査選考の結果は、下記のとおりです。
合判定により許可を得られた方は、出願要項に基づき、必ず所定期間内に
出願を行ってください。期間外においての手続きは許可されません。

履修申請科目一覧

| 開講 | 曜日 | 時限 | 科目名 | 担当教員名 | 合否 |
|---------------------|----|----|-----|-------|----|
| 後期 後期 I 後期 II | | | | | |
| 後期 後期 I 後期 II | | | | | |
| 後期 後期 I 後期 II | | | | | |
| 後期 後期 I 後期 II | | | | | |
| 後期 後期 I 後期 II | | | | | |
| 後期 後期 I 後期 II | | | | | |

※ 開講欄では、対応する期間に○印をつけてください。

**東京都立大学大学院経営学研究科(博士前期課程)
2022年度科目等履修生 科目別履修申請書**

| | | | | |
|-------------|--------------------------|----------|------|---|
| 志望するプログラムに○ | 経営学・経済学・ファイナンス | | | |
| 氏名 | | | 受理番号 | ※ |
| 科目名 | | | 担当教員 | |
| 開講期間 | 前期・前期Ⅰ・前期Ⅱ 後期・後期Ⅰ・後期Ⅱ | 曜限 曜限 | 判定 | ※ |

1) この授業科目の履修を志望する理由を具体的に記入してください。
選考のための重要な判定資料になるので詳しく記入してください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

2) この授業科目に関連のある授業科目で、過去に履修(聴講)した科目名、単位取得の有無、及び今年度履修(聴講)予定の科目について記入してください。(他大学、他機関を含めて記入してください)

| 科目名 | 教員名(大学名) | 単位 | 科目名 | 教員名(大学名) | 単位 |
|-----|----------|----|-----|----------|----|
| | | | | | |

授業担当者所見欄※

※ 記入不要

東京都立大学大学院経営学研究科(博士前期課程)
2022年度前期 科目等履修生 願書

| | |
|-----------------|--------------------|
| 志望する プログラムに○ | 経営学 ・ 経済学 ・ ファイナンス |
| 氏 名 | |

| | |
|------|---|
| 受理番号 | ※ |
|------|---|

※記入不要

| | |
|------|-------|
| 生年月日 | 年 月 日 |
|------|-------|

| | | |
|-----|---|---------------|
| 現住所 | 〒 | TEL: MAIL: |
|-----|---|---------------|

| 受講申請科目欄 | | | | | | 授業番号 | 受講 チェック欄 |
|----------|----|----|-----------|---------|--|------|-------------|
| 開講 期間 | 曜日 | 時限 | 履 修 科 目 名 | 担 当 教 員 | | | |
| 1 | | | | | | | |
| 2 | | | | | | | |
| 3 | | | | | | | |
| 4 | | | | | | | |
| 5 | | | | | | | |
| 6 | | | | | | | |

東京都立大学大学院経営学研究科(博士前期課程)
2022年度後期 科目等履修生 願書

| | |
|-----------------|--------------------|
| 志望する プログラムに○ | 経営学 ・ 経済学 ・ ファイナンス |
| 氏 名 | |

| | |
|------|---|
| 受理番号 | ※ |
|------|---|

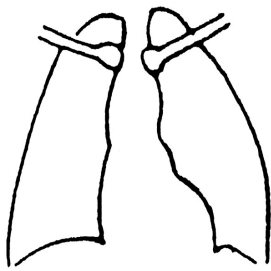
※記入不要

| | |
|------|-------|
| 生年月日 | 年 月 日 |
|------|-------|

| | | |
|-----|---|---------------|
| 現住所 | 〒 | TEL: MAIL: |
|-----|---|---------------|

| 受講申請科目欄 | | | | | | 授業番号 | 受講 チェック欄 |
|----------|----|----|-----------|---------|--|------|-------------|
| 開講 期間 | 曜日 | 時限 | 履 修 科 目 名 | 担 当 教 員 | | | |
| 1 | | | | | | | |
| 2 | | | | | | | |
| 3 | | | | | | | |
| 4 | | | | | | | |
| 5 | | | | | | | |
| 6 | | | | | | | |

健康診断書

| | | | |
|--|---------------|--------------|-----|
| ふりがな | | 生年月日 | 男・女 |
| 氏名 | | ・ | |
| 診断事項 | | | |
| 結核 | 直接 (撮影年月日) | 間接 (撮影番号) | |
|  | | | |
| 所見 | | | |
| その他の疾病及び異常 | 病名 無・有 () | | |
| 受診日 | 年 月 日 | | |
| <p>診断の結果、上記のとおり相違ないことを証明する。</p> <p>年 月 日</p> <p>住所(所在地)</p> <p>医療機関名</p> <p>医師氏名 印</p> | | | |

記入上の注意

1. エックス線検査の欄については、直接撮影の場合は、撮影年月日を、間接撮影の場合は、撮影番号を記入してください。

受理番号※

| |
|--|
| |
|--|

東京都立大学大学院経営学研究科 博士前期課程 ファイナンスプログラム
2022年度科目等履修生 科目時間割

1 いずれも若干名の募集

2 授業時間は、下記のとおりです。

| 曜日 | 時限 | 授業時間 |
|----|----|---------------|
| 平日 | 5 | 18:20 ~ 19:50 |
| | 6 | 20:00 ~ 21:30 |

| 曜日 | 時限 | 授業時間 |
|----|----|---------------|
| 土 | 1 | 10:30 ~ 12:00 |
| | 2 | 13:00 ~ 14:30 |
| | 3 | 14:40 ~ 16:10 |
| | 4 | 16:20 ~ 17:50 |

<科目等履修生時間割>

| | 科目名 | 担当教員 | 期間 | 曜日 | 時限 | 単位数 |
|--|-----------------------|------|-----|--------|--------|-----|
| | 資産運用論 | 加藤 | 前期 | 月 | 5 | 2 |
| | 債券投資とALM | 市川 | 後期 | 月 | 5 | 2 |
| | オプション理論 | 竹原 | 前期Ⅱ | 木 土 | 6 3 | 2 |
| | 期間構造モデル | 室町 | 後期Ⅰ | 月 土 | 6 2 | 2 |
| | クレジットデリバティブ | 竹原 | 後期Ⅱ | 月 木 | 6 5 | 2 |
| | 上級オプション理論 | 竹原 | 前期 | 木 | 5 | 2 |
| | 金融リスク管理概論 | 吉羽 | 前期 | 火 | 6 | 2 |
| | 市場リスク管理 | 吉羽 | 後期 | 土 | 1 | 2 |
| | 信用リスク管理 | 室町 | 前期 | 火 | 6 | 2 |
| | 確率解析Ⅰ | 足立 | 前期Ⅰ | 火 土 | 5 4 | 2 |
| | 確率解析Ⅱ | 足立 | 前期Ⅱ | 火 土 | 5 4 | 2 |
| | 金融における最適化 | 吉羽 | 前期 | 土 | 1 | 2 |
| | 金融経済学 | 原 | 前期 | 金 | 5 | 2 |
| | ファイナンス特別講義（証券市場の均衡分析） | 原 | 後期 | 金 | 5 | 2 |
| | アルゴリズム取引 | 足立 | 前期 | 木 | 6 | 2 |
| | コーポレートファイナンス理論 | 新井 | 前期 | 土 | 2 | 2 |
| | オプション理論とコーポレートファイナンス | 芝田 | 後期 | 火 | 6 | 2 |

※1 原則、前期Ⅰは4月～6月、前期Ⅱは6月～8月で、週2コマずつ講義があります。

※2 原則、後期Ⅰは10月～11月、後期Ⅱは11月～2月で、週2コマずつ講義があります。

※3 履修にあたってはそれぞれ条件が課されています。次ページをご覧ください。

3 科目別の履修要件

| 科目 | 追加的な履修要件 |
|---------------------------|---|
| 資産運用論 | ポートフォリオ理論や統計の基礎的な知識を持っていること。 |
| 期間構造モデル | 「オプション理論」を履修、またはその講義で扱う知識を持っていること。 |
| クレジットデリバティブ | 「オプション理論」及び「期間構造モデル」を履修、またはそれらの講義で扱う知識を持っていること。 |
| 上級オプション理論 | 「オプション理論」を履修、またはその講義で扱う知識を持っていること。 |
| 金融リスク管理概論 | 微積分・線形代数・確率論と金融実務に関して基本的な知識を持っていること。 |
| 市場リスク管理 | 確率論と金融リスク管理の基礎知識を持っていること。具体的には、「確率解析Ⅰ」「確率解析Ⅱ」「金融リスク管理概論」を履修していること、またはそれらの講義で扱う知識を持っていること。 |
| 信用リスク管理 | 確率論と金融リスク管理の基礎知識を持っていること。具体的には、「確率解析Ⅰ」「確率解析Ⅱ」「金融リスク管理概論」を履修していること、またはそれらの講義で扱う知識を持っていること。 |
| 確率解析Ⅰ | 授業中に解けなかった問題は必ず復習して解き、課題も必ず提出すること。 |
| 確率解析Ⅱ | 「確率解析Ⅰ」を履修していること。授業中に理解が不十分だった例題や問題は必ず復習して解き、課題も必ず提出すること。 |
| 金融における最適化 | 基本的な微積分・線形代数の知識があること。 |
| 金融経済学 | 基本的な微積分・線形代数・確率論の知識があり、自分で計算できること。 |
| ファイナンス特別講義 (証券市場の均衡分析) | 「金融経済学」を履修、またはその講義で扱う知識を持っていること。 |
| アルゴリズム取引 | MFプログラム修了生で、「確率解析Ⅰ」「確率解析Ⅱ」を履修、またはそれらの講義で扱う知識を持っていること。 |
| コーポレートファイナンス理論 | 基本的な微積分・線形代数・統計学・会計学の知識があること。 |
| オプション理論と コーポレートファイナンス | 「オプション理論」を履修、またはその講義で扱う知識を持っていること。 |

注) 「オプション理論」「期間構造モデル」「金融リスク管理概論」「確率解析Ⅰ」「確率解析Ⅱ」「金融経済学」の講義内容に関しては、参考のため2021年度のシラバスを以下でご覧ください。

https://www.biz.tmu.ac.jp/wp-content/uploads/2020/05/2021年度_経営学研究科/社会科学研究科経営学専攻授業概要・履修案内.pdf

ただし、2022年度は内容の変更もあります。